

わたち

令和2年11月20日 第31号

オンラインゲーム どんな笑顔？

技術の進歩はすさまじく、最近、インターネット環境の改善と共にオンライン型のゲームが流行っています。産山の子供たちの一部にも広がっているようです。今日は、子供たちを取り巻く環境と笑顔についてご一緒に考えてみたいと思います。

オンラインゲームに興じる子どもさんはいかがでしょうか？目的を達成するために法外な課金をしてしまう、相手を倒す、暴力的になる…いくらゲームの世界とはいえ、使って欲しくない、やってほしくない言動などでお困りではありませんか？もしお悩みのでしたら、一度、そんなお子さんの姿を動画(ビデオ)に撮って、それを本人に見せてみましょう。

私はこれまで、人権などいじめに関する授業をする際に、「もし、他の人をからかうようなことをした時に、自分がどんな顔をしているか想像してごらん？笑っている？だとしたら、それはどんな笑顔ですか？見ていてあなたにふさわしい、みんなが気持ち良くなる笑顔ですか？と…ゲームに興じる自分の姿を見る…きっとお子さんはその姿を見て、何が大切かお考えになると思います。ぜひ親子でお考えください。村上 拝



本当の「自由」とは？ 村人権教育授業研究会

11月18日(水)、村人権同和教育授業研究会が行われ、6年担任の富永先生が、道徳科の授業を公開しました。

6年生は、「うぶわれた自由」という資料を通して、自分は「人に左右されず、まちがっていることはまちがっていると言えるか？」、「本当の『自由』とは？」という問いと向き合い、自分自身をしっかりと見つめていました。

「実際の生活の中では、勇気がなく注意できない」「本当の自由って、わがままや自分勝手と違い、周りに迷惑をかけないこと」など、次々と発表する6年生。人間ですから、強い立場の人にはっきり意見を言えなかったり、自分勝手な行動をしたりすることもあると思います。でも、6年生は、富永先生とともに、そのつど、学級で話し合い、どうすればよかったか真剣に考えてきました。7年生に向けて、人権意識をまた一つ高めた6年生でした。

校内研修では、富永先生の授業をもとに、有住指導主事から指導助言をいただき、人権学習の大切さや指導方法について、学びを深めることができました。今村 拝



自分自身
をみつめ

ともに
学び合い



人権感覚を
磨く学園生